

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
						A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			・理念、方針については、日々再確認の機会を作っている。職員の意識が高まっている。 ・保護者には、ホームページや園だよりの他、各クラスだよりで具体的な内容も知らせているが保護者アンケート結果は前年度より高くなっている。 ・園内研修で子どもの人格を尊重した保育展開について学びを深めている。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか	○				
教育・保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか	○				・定期的に会議を開き教育保育課程の改善を行っている。 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」をふまえ、3 歳児から小学校就学前までの園児の成長を見据え、一貫した教育・保育をおこなっている。 ・「幼児期の終わりまでに育って欲しい 10 の姿」や「資質・能力の 3 つの柱」についても研修をしながら共通理解を図るよう努力している。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				・職員会議を通して共通理解につなげている。定期的に身体測定等を行ない子ども一人一人の発育・発達をグラフ化して、実態の把握に努めている。 ・食事においては、毎月給食会議を実施し園長・主幹・各担任と話し合い、必要があれば改善し共通理解を図っている。 ・野菜の栽培や収穫体験、クッキング等、食事を楽しくむきかけ作りをし、食育計画に基づいて取り組んでいる。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか	○				
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	○				
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			・子ども一人一人に目を向け、子どもの気持ちを尊重している。一人一人の理解度に合わせた細やかな関りが、より必要であると感じる。 ・健康安全については知識共有や積極的に意見を述べ環境を整えていく必要がある。 ・招待的な保育の展開や経験を大切にしている。
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか	○				
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか	○				
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			・子どもの自己肯定感を高めることを大切に思い、保育者との信頼関係を基に、主体的に環境に関われるよう努力している。
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか	○				
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか	○				・市の巡回指導などを通して、助言や指導を受けている。 ・小学校との連携や交流を行ったが、前年度より交流回数が増えたが、今後も小学校との計画を見直し、できるだけ連携に努めたい。
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか	○				
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			・今年度は、面談の回数を年 2 回にし直接話せる機会を増やした。 ・園児においては、身体測定や着替え等や普段の活動などを通して、虐待が疑われる状況がないか意識して観察している。 ・地域の子育て世帯に対して園庭開放や交流の場の提供を行なったが、6 年度の参加は少なかった。
	(2) 虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか	○				
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか			○		
教育・保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、対応を図っているか		○			・感染症での対応として、職員間で共通理解を高め感染症予防に務めてきた。 ・感染予防のための消毒の徹底や保健指導など共通理解し、対応している。 ・アレルギー児には、保護者、担任、が聞き取りを行い、医師の指示に従って対応している。 ・外部講師を招いてエビブンの講習を行なった。 ・安全管理、危機管理のマニュアルに沿って行っている。職員全体にマニュアルが徹底されるように努めていく。
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか		○			
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか	○				・園内研修で、感染症や怪我への対応について学び、全職員が対応できるようにした。 ・研修においては、リモートでの研修が増え、園内での研修を充実させるなど職員の学びに繋げるよう努めた。 ・保育教諭にも個人差があり、主体的に自分を見直し、改善するという保育の振り返りに力を入れている。 ・守秘義務や個人情報の保護に関しては、日々その都度全職員と共通理解をし、遵守に努めている。
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか	○				
	(7) 事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				・園児や保護者の権利を守り、安心して預けていただくためにも、保護者の意見や苦情に対応する体制を整え、円滑円満に解決できるよう努めている。 ・6 年度、苦情が匿名で 1 件あった。保護者が直接、園に対して対話ができる雰囲気を作りたい。 ・子ども一人ひとりに応じた支援を多角的に行えるよう職員の資質向上に努めていく。
	(10) 個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○				
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか	○				
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか	○				
	(14) 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

田場こども園

令和6年度 保護者アンケート結果

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
1. 保育・教育の内容が理解できた	72	22	2	0
2. 田場こども園の保育・教育はお子様にあっていると感じられる	81	14	1	0
3. 子ども達の意欲や主体性を育む活動をしている	85	10	1	0
4. 保育者は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に保育をしている	77	17	2	0
5. お子様は、こども園生活で成長していると感じる	89	7	0	0
6. お子様は、毎日こども園に行くのを楽しみにしている	71	22	3	0
7. お子様は、家庭で先生やお友達の話をよくする	64	25	7	0
8. 保育者は、明るく熱心である	81	14	1	0
9. 園は、地震・津波・火災・不審者などに対する防災に取り組んでいる	85	10	1	0
10. 園からの緊急連絡がスムーズに伝わるように工夫されている	73	21	2	0
11. 園は、保護者からの相談に対して誠実に対応している	82	13	1	0
12. 保育者は、園でのお子様の様子や連絡などを適切に行なっている	74	19	3	0
13. 子どもが生活しやすいこども園（環境）である	82	14	0	0
14. 園だよりやクラスだよりなどで保育・教育や活動をわかりやすく伝えている	80	16	0	0
15. 上記を総合して田場こども園の保育・教育方針に沿った活動が展開されている	83	12	1	0

・日頃から田場こども園へのご理解ご協力ありがとうございます
多くの保護者の方のアンケートへのご回答、感謝申し上げます
アンケート結果を踏まえ職員で会議を開き令和7年度に向け改善できる点を話し合いを行ないました。

・ケガをした時、ケガをさせてしまった時どちらも声掛けが欲しい

・風邪等で休みで連絡忘れをした時、休みですか？の確認がないのが不安です。

・発表会の衣装準備もう少し早く告知して貰えたら助かる

自由記述やアンケートの結果を踏まえ、子どもの遊びを楽しめる環境をさらに研究しながら保育・教育を高めていきたいと思います。また、遊びの様子から子どもの学びや育ちの発信、保護者への連絡等の強化を行ない更なる質の向上を目指していきたいと思います。今後も、田場こども園へのご理解ご協力よろしくお願いします。

田場こども園
園長 長嶺将大